

2019年12月16日

## お客様各位

日本車輛製造株式会社  
機電本部 サービス部

## 操作レバーリンク機構の動作確認と点検について

謹 啓

貴社、益々御清栄の段、お慶び申し上げます。又、毎々格別なお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、首題の件につき、お客様においては定期自主、特定自主等の法定検査を実施いただいていることと存じますが、本年10月に杭打機のリンク機構固着が起因するリーダ倒壊の事故事例がありました。

つきましては、作業前・月例・年次(特自検)の各点検時の確認と点検の方法についてご案内申し上げますので、事故を未然に防ぐためにも機械管理の一助としてご活用いただければ幸いに存じます。

今後とも末永く、弊社製品をご愛用賜ります様重ねてお願い申し上げます。

敬 具

- 記 -

## ◎リンク部に不具合が発生している可能性が有る状況

1. 操作レバーがいつもより重い
2. レバーを離しても中立位置に戻らない。  
※スプリングリターン式(レバーを離すと中立位置に戻る)の場合
3. レバー操作時に、ディテントの効き(操作位置で固定される感覚)を感じない  
※ディテント式(レバー操作方向に固定される)の場合
4. レバー操作時の動作に、引っ掛かり等があり動作がスムーズでない  
※ディテント式の操作感覚以外での、引っ掛かり等の操作感覚がある場合  
(スプリングリターン式、ディテント式共通)

## ◎上記の症状が発生した場合の対処法

- ①リンク動作部の状況を確認する。
  - 1) リンクやロッドの損傷、接続ナット等の弛みや脱落の有無
  - 2) 接続ピンやピン抜け止めの脱落の有無  
※上記に異常が発見された場合は、部品の取り付けや交換を実施する。
- ②給油脂状況の確認
  - 3) 各接続ピン、及び各回転軸受けの給油脂状況
  - 4) バルブディテント部の損傷と給油脂状況確認(ディテント式のみ)  
※上記に異常が発見された場合は各部に給油脂を行う
- ③操作バルブのスプリング作動状況確認(スプリングリターン式のみ)
  - 5) 操作バルブのスプール(以下、スプール)とリンクの接続ピンを外し、スプールを単体にて操作しスプリング力でスプールが中立位置に戻るか確認し、戻らない場合は部品交換する

※上記を対処しても症状が改善しない場合や、点検や対処方法でご不明な点が有りましたら弊社サービスセンターまたは指定サービス工場へご相談ください

- 以 上 -